

PAT-NO: JP406205723A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06205723 A

TITLE: FINGER GLOVE FOR FOOD

PUBN-DATE: July 26, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KYODA, YOSHIKO

KOBAYASHI, TAIICHIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

DAINIPPON PRINTING CO LTD

N/A

APPL-NO: JP05002740

APPL-DATE: January 11, 1993

INT-CL (IPC): A47G021/10, A41D013/08

US-CL-CURRENT: 2/163

ABSTRACT:

PURPOSE: To handle the food such as fried chicken without staining fingers by forming a pocket section for a thumb and a pocket section for four fingers including an index finger at both ends in the longitudinal direction of a rectangular sheet having oil resistance and water resistance.

CONSTITUTION: A polyethylene film 2 is laminated on one face of an oil-absorbing nonwoven fabric 1 to form an oil-resistant and water-resistant sheet

5. The sheet 5 is cut into a rectangle, both end sections 3, 4 in the longitudinal direction are folded, peripheries 6 are thermally welded, and pocket sections 8, 9 are formed to manufacture a finger glove 7. Four fingers from an index finger to a little finger are inserted into the pocket section 8, and a thumb is inserted into the pocket section 9, for example. Back sides of the pocket sections 8, 9 are brought into contact with the food such as fried chicken to grab the food. The fingers are prevented from being stained by oil, and the food is sanitarilly handled.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-205723

(43)公開日 平成6年(1994)7月26日

(51)Int.Cl.⁵

A 4 7 G 21/10

A 4 1 D 13/08

識別記号

庁内整理番号

Z 7137-3K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平5-2740

(22)出願日

平成5年(1993)1月11日

(71)出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72)発明者 経田 佳子

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(72)発明者 小林 泰一郎

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

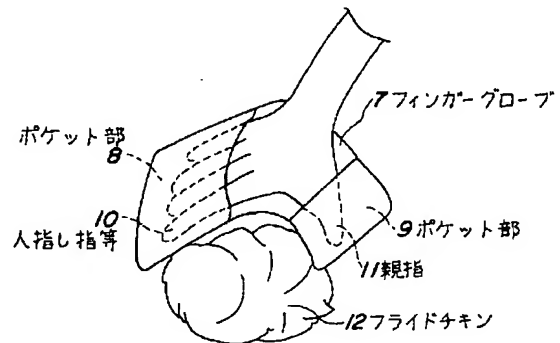
(74)代理人 弁理士 渡辺 勤 (外1名)

(54)【発明の名称】 食品用フィンガーグローブ

(57)【要約】

【目的】 フライドチキン等の食品を掴む際に、手指が油などで汚れないようにするための手段を提供する。

【構成】 耐油性もしくは耐水性をもったシート材からなり、指に装着するためのポケット部を形成してなる食品用フィンガーグローブである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 耐油性もしくは耐水性をもったシート材からなり、指に装着するためのポケット部を形成してなる食品用フィンガーグローブ

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、フライドチキン等の食品を掴む際に、手指が油などで汚れないようにするための食品用フィンガーグローブに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、フライドチキン、フライドポテト等、様々なファーストフードが販売されている。これらファーストフードを屋外で食べる機会も多いが、フライドチキンなどを手で直接掴んで食べようとすると、手指が油で汚れる、手指がきれいでないために不衛生であるといった問題がある。かかる問題点を解消するために、従来は以下の手段が採られている。

1. フライドチキンなどにあっては骨の部分にアルミ薄、ナプキン等を巻き付けたものを容器に入れて販売する。
2. 食べる際にナプキン等で食品を包み、直接手で触れないようにする。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記1の従来方法は、食品にいちいちアルミ薄などを巻き付ける作業が必要となり、手間がかかる。また、容器内で食品が動き、他のチキンの油がアルミ薄を巻き付けた部分に触れることにより、把持部分が汚れてしまうといった問題もある。更に、ナプキン等を利用した場合は、時間が経つにつれて油がしみてしまうといった懸念もある。上記2の従来方法は、予めナプキン等を別途用意しておかなければならない。また、いちいちナプキンを介してチキン等を掴むのは面倒である。従って、本発明はフライドチキン等の食品を掴む際に、手指が油などで汚れないようにするための手段を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】かかる目的達成のため、耐油性もしくは耐水性をもったシート材からなり、指に装着するためのポケット部を形成してなる食品用フィンガーグローブを構成した。

【0005】

【作用】ポケット部に指を入れてフィンガーグローブを手で装着する。こうして装着したフィンガーグローブを介してフライドチキン等の食品を掴むことにより、手指が食品に直接触れないようにする。

【0006】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面により説明する。本発明は、耐油性もしくは耐水性をもったシート材からなり、指に装着するためのポケット部を形成してなる食品用フィンガーグローブに関するものである。シー

ト材は、例えば図1に示すように吸油性不織紙1の片面にポリエチレンフィルム2をラミネートすることにより耐油性、耐水性をもたせたものを使用する。その他のシート材として、耐油性のある紙や、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエチレンテレフタレートなどの樹脂フィルム単体を用いたり、それらを適宜積層してシート材を構成してもよい。

【0007】以上のように耐油性もしくは耐水性をもったシート材を切断して図2に示すように上部材片3、4と下部材片5を接続したシートを成型し、折り返し線3'及び4'に沿って上部材片3、4をそれぞれ折り返してポリエチレンフィルム2の面を向かい合わせるように重ね合わせ、周縁を熱溶着6することにより、図3に示すフィンガーグローブ7を構成することができる。なお、周縁部は接着剤で接着させてもよい。上部材片3、4と下部材片5との間には袋状のポケット部8、9が形成され、図4に示すように、これらポケット部8、9に人指し指10等と親指11を挿入することにより、フィンガーグローブ7を指に装着した状態で確実に保持することができる。このように指にフィンガーグローブ7を装着して、図示のように例えばフライドチキン12を掴むようにすれば、指がチキンに直接触れることがなく、従って、指が油で汚れる心配がない。また、指が食品に直接触れないので衛生的でもある。

【0008】しかして、本発明は以上の実施例に限られるものではなく、適宜変形実施が可能である。例えば、図5に示すように長方形の部材片15の両端部16、17を折り返して、図6のように両縁端をそろえて熱溶着18することにより、フィンガーグローブ19を構成することもできる。この場合、熱溶着部18の左右に形成された筒状のポケット部20、21に人指し指10等と親指11をそれぞれ挿入して使用するとよい。この実施例のフィンガーグローブ19は一箇所を熱溶着するだけで製作できるといった利点がある。

【0009】図8は小型のフィンガーグローブ25を示している。即ち、上部材片26と下部材片27を折線24で折り返してポリエチレン面を向かい合わせるように重ね合わせ、周縁を熱溶着28することにより、袋状のポケット部29を構成したものである。以上のようなフィンガーグローブ25を、図9に示すように各指10、11等に対してそれぞれ装着して使用することにより、指が油で汚れるのを防ぐことができる。この実施例のフィンガーグローブ25によれば、小型ゆえにシート材が少なく済み、コスト低減が図れるといった特徴がある。

【0010】更に、図10は指全体を覆うことのできる手袋タイプのフィンガーグローブ30を示している。図示のように上部材片31と下部材片32を折線29で折り返して重ね合わせ、周縁を熱溶着33することにより、人指し指等を入れるためのポケット部34と親指を

10

20

30

40

50

3

入れるためのポケット部35を形成している。これらポケット部34、35に人指し指10等と親指11をそれぞれ挿入して、図11に示すように装着すれば、フィンガーグローブ30の中に指全体を入れることができるので、グローブの装着が確実である。また、指を完全に覆っているため、油汚れ、不衛生といった問題をより完全に解消できるという利点がある。しかし、本発明の変形実施例についても説明したが、何れにしてもポケット部の大きさや形状は挿入する指の種類、本数などの事情に応じて決定すればよく、図示の使用方法に限らない。

【0011】

【発明の効果】本発明の食品用フィンガーグローブによれば、手指が食品に直接触れることがないので、油等による指の汚れを防ぐことができ、しかも、衛生的である。従って、フライドチキン、フライドポテト等のファーストフードの販売の際に、本発明の食品用フィンガーグローブを付属品として入れておけば、需要者は指の油汚れ、不衛生といった心配をしないで済み、屋外でも気軽にそれらの食品を食べることができるようになる。

20

4

【図面の簡単な説明】

【図1】シート材の拡大断面図

【図2】フィンガーグローブの分解図

【図3】フィンガーグローブの斜視図

【図4】フィンガーグローブの使用状態図

【図5】一枚の部材片で製作できるフィンガーグローブの分解図

【図6】同フィンガーグローブの斜視図

【図7】同フィンガーグローブの装着状態図

【図8】シート材を少なくできるフィンガーグローブの斜視図

【図9】同フィンガーグローブの装着状態図

【図10】手袋タイプのフィンガーグローブの斜視図

【図11】同フィンガーグローブの装着状態図

【符号の説明】

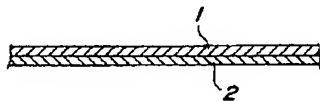
7 フィンガーグローブ

8、9 ポケット部

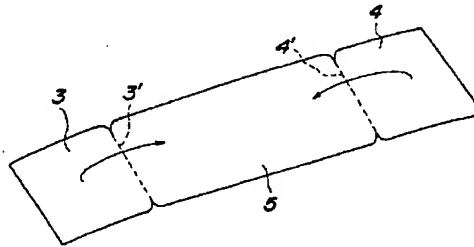
10、11 指

12 フライドチキン

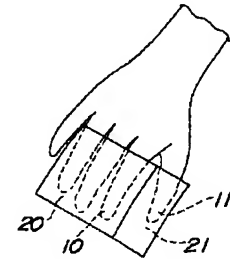
【図1】



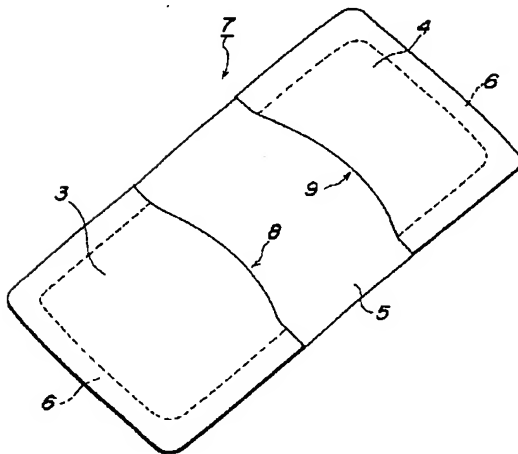
【図2】



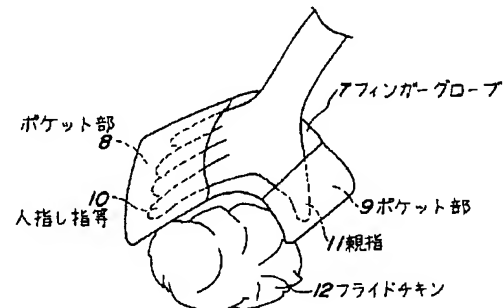
【図7】



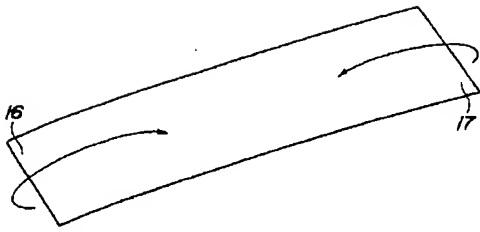
【図3】



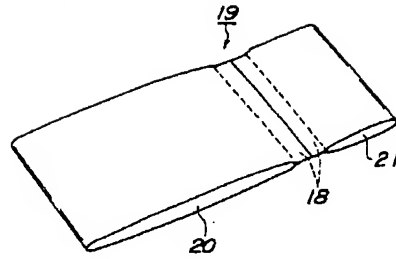
【図4】



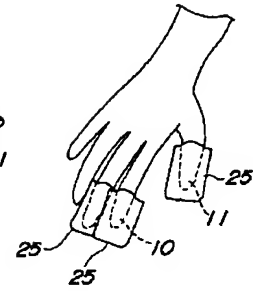
【図5】



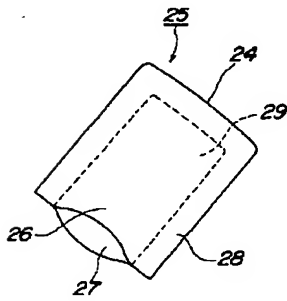
【図6】



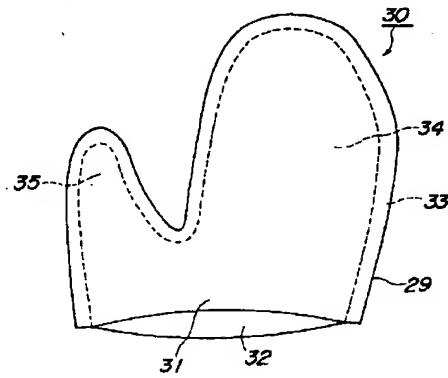
【図9】



【図8】



【図10】



【図11】

